

食育だより

常総市立豊岡小学校
平成24年1月号

全国学校給食週間について

1月24日～30日までの1週間は毎年、全国学校給食週間です。本週間は、学校給食の意義、役割等について理解と関心を高め、学校給食のより一層の充実発展を図ることを目的としています。豊岡小学校では、24日に「きゅうしょく集会」を実施しました。

1 給食についてのクイズをしました。

問題「日本ではみんな学校給食を食べているか？」

答え「全員ではない。」

問題「日本で初めての学校給食はおにぎりか。コッパンか。」

答え「おにぎりです。給食が始まったのは今から123年前で、その時の献立は、おにぎり、焼き魚、漬け物でした。」

児童達は赤白帽子で回答し、正解すると歓声をあげていました。



2 アンケート結果の発表

全児童に一番好きなメニューのアンケートを実施し、その結果を発表しました。

1位 カレー 2位 ソフトめん 3位 からあげ

3 給食が出来るまでの説明

給食センターでカレーが作られるまでを知りました。じゃが芋の量が約1200個であることや調理器具の大きさにとても驚いていました。

4 給食センターの調理員さんに質問

3名の調理員さんにお越しいただき、各クラス1つずつ質問に答えていただきました。

1年生「毎日、何人分作っていますか？」調理員さん「豊岡小学校の他に、大生小学校や水海道西中学校などの給食も作っているので、全部で約3500人分です。」

2年生「何時から作るのですか？」調理員さん「朝8時から作り、できたてを食べてもらうようにしています。」

3年生「調理をするときに気をつけていることはなんですか？」調理員さん「ゴミやバイ菌が入らないように注意しています。」

4年生「何が一番大変ですか？」調理員さん「今は水がとても冷たくて、手を真っ赤にしての作業がつらいです。」

5年生「一番うれしいことはなんですか？」調理員さん「食缶の残りが少ないときがうれしいです。」

6年生「給食はなぜそんなにおいしいのですか？」調理員さん「教室でお友達や先生とたのしく食事をするので、おいしく感じているのかもしれないね。」



集会後、給食時のマナーについて見直し、なるべく残さず食べようとする意欲が見られます。ご家庭でも自分たちが食べた給食を話題にしてください。